

さまざまな分野で活躍する子どもたちを紹介します。



※掲載情報は6月25日現在です。

おめでとう
口笛世界大会優勝

#027 Shungo Chiba
千葉 俊冴 さん

比布中央学校 9年生

—— 広報びっぶ 2022年11月号で紹介

比布中央学校9年生の千葉俊冴さんが、5月30日～6月2日に神奈川県で開かれた「第46回口笛世界大会2024」音源伴奏・ティーン部門で初優勝し、世界一に輝きました。

口笛世界大会（日本口笛連盟主催）はアメリカ発祥で、平成28年からは隔年で日本で開催されている、最大規模の大会です。今回は7か国から延べ100人以上の口笛奏者が集まり、腕前を競いました。

千葉さんが出場した音源伴奏部門は、あらかじめ用意した楽曲（クラシック「ポピュラー」各1曲）に乗せて口笛を吹き、得点を競うもので、ティーン部門（13歳～17歳）には事前審査を通過した8人が出場。

千葉さんはシューベルトの『魔王』、ロックバンド・エアロスミスの『ミス・ア・シング』を選曲し、舞台上に立ちました。

緊張でいっぱいだった前回大会（チャイルド部門第2位）と比べ、リラックスして臨めたという千葉さん。年上の強豪奏者がひしめく中で手にした優勝トロフィーに、「自分の思い通りの演奏ができた」と達成感あふれる表情を浮かべていました。

花のある農村環境をめざして

比布町保全の会と比布中央学校2年生が 約4,500本の花を植栽



6月19日、町内の環境保全活動組織「比布町保全の会」（今野安夫会長）会員と比布中央学校2年生が、良佳プラザ・遊湯びっぶ前の花壇などに約4,500本の花を植栽しました。

農村環境の維持・向上を図るこの活動は、毎年、多くの観光客が訪れる「良佳村エリア」を美しく彩っています。

今回、初の試みとして2年生20人も植栽に参加。地域活動を通して町の良さや魅力を知り、愛着を持つことを狙いとしてさまざまな校外学習を行う、生活科の授業と連携しました。

2年生は会員から教わりながらときどきと植えていき、今野会長は「こんなに賑やかなのは初めて」と笑顔を見せていました。

▼マリーゴールドとジニアを植栽

